

事業番号

2023 - 府 - 22 - 0143

令和5年度行政事業レビューシート

( 内閣府 )

<b>事業名</b>	国際平和協力隊の派遣等経費			<b>担当部署</b>	国際平和協力本部事務局	<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成4年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	—	参事官 植草 泰彦	
<b>会計区分</b>	一般会計						
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律(第9条、第16条、第17条)			<b>関係する計画、通知等</b>	南スーダン国際平和協力業務実施計画(H23.11.15閣議決定/R5.5.12最終変更) シナイ半島国際平和協力業務実施計画(H31.4.2閣議決定/R5.5.12最終変更)		
<b>政策</b>	25. 国際平和協力			<b>主要経費</b>	その他の事項経費		
<b>施策</b>	31. 国際平和協力に関する施策の推進						
<b>政策体系・評価書URL</b>	https://www8.cao.go.jp/hyouka/index.html						
<b>事業の目的</b> (5行程度以内)	国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律(平成4年法律第79号。以下「国際平和協力法」という。)に基づき、国際平和協力隊の派遣を通じた国際平和協力業務(国際連合平和維持活動、国際連合平和安全活動、人道的な国際救援活動及び国際的な選挙監視活動)を適切かつ迅速に実施することで、我が国として国際社会の平和と安定に寄与することを目的とする。						
<b>現状・課題</b> (5行程度以内)	令和2年度から4年度は国連南スーダン共和国ミッション(以下「UNMISS」という。)及び多国籍部隊・監視団(以下「MFO」という。)における国際平和協力業務に加え、令和4年度に関してはウクライナ被災民のための人道支援物資を輸送する国際平和協力業務も実施した。これらの活動に対しては、国連・MFO・国際連合難民高等弁務官事務所(以下「UNHCR」という。)*現地政府等から肯定的な評価を得ることが出来た。						
<b>事業概要</b> (5行程度以内)	UNMISSにおける国際平和協力業務については、国際連合からの要請に基づき、平成23年から、南スーダン共和国の首都ジュバにUNMISS司令部要員及び連絡調整要員を派遣している。 MFOにおける国際平和協力業務については、MFOからの要請に基づき、平成31年から、MFO司令部要員をエジプト・アラブ共和国のシャルム・エル・シェイクに、連絡調整要員を首都カイロに派遣している。 UNMISS及びMFOにおける国際平和協力業務を引き続き実施するとともに、新たな国際平和協力業務についても不断の検討を行っている。						
<b>事業概要URL</b>							
<b>実施方法</b>	直接実施						
<b>補助率等</b>							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の状況	当初予算(A)	219	207	208	205	231
		補正予算(B)	—	—	▲1	32	—
		令和5年度第1次補正予算	—	—	—	32	—
			—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—
		前年度から繰越し(C)	—	—	—	—	—
		翌年度へ繰越し(D)	—	—	—	—	—
		予備費等(E)	—	—	—	—	—
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	219	207	207	237	231	
執行額(G)	90	87	118	—	—		
執行率(%) =(G)/(F)	41%	42%	57%	—	—		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	41%	42%	57%	—	—		
<b>令和5・6年度 予算内訳</b> (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(*要望額・予備費)		
	(項)	国際平和協力本部					
	(目)	国際平和協力業務庁費	128	147			
	(目)	国際平和協力業務旅費	43	46			
	(目)	職員諸手当	31	35			
	(目)	委員等旅費	2	2			
	(目)	諸謝金	1	1			
		計(A)	205	231			

活動内容① (アクティビティ)		国際連合を中心とした国際平和のための努力に積極的に寄与する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		国際平和協力業務の実施	国際平和協力業務の実施回数	活動実績	カ所	2	2	3		
				当初見込み	カ所	2	2	2	2	
↓										
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		我が国が実施する国際平和協力業務の成果については、短期的には、活動の要請元(国連・MFO等)や活動国(現地政府)等からの評価により確認できるため。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
		我が国が実施する国際平和協力業務に対し、国連・MFO・現地政府等から肯定的な評価を得る。	-	成果実績	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和2年度から4年度はUNMISS及びMFOIにおける国際平和協力業務を、また令和4年度に関してはウクライナ被災民のための人道支援物資を輸送する国際平和協力業務も実施した。 これらの活動に対しては、国連・MFO・UNHCR・現地政府等から肯定的な評価を得ることが出来た。								
↓										
成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		我が国が実施する国際平和協力業務の成果については、長期的には、どのように国際社会の平和と安定に向けた国際的な取組みの進展に寄与したかを確認する必要があるため。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
		我が国が実施する国際平和協力業務が、国際社会の平和と安定に向けた取組みに寄与する。	-	成果実績	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		我が国が実施した国際平和協力業務が国際社会の平和と安定に向けた国際的な取組みの進展に寄与したことを示す情報								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		国際平和協力という政策の性質上、数値化した定量的な目標はなじまないため。								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業に関連する KPIが定められ ている関連決定 等		名称								
		URL								
		該当箇所								



内閣府国際平和協力本部

118百万円

国際平和協力手当の支給、  
国際連合平和維持活動の実  
施調査、国際平和協力業務等の総合的  
な検討、事前調査等

【随意契約(少額)等】

A. 日本通運  
他158社・名  
57百万円

国際平和協力隊の派遣に必要な物資の輸送、  
宿舍借り上げ等の経費

【個人】

B. 個人49名  
61百万円

国際平和協力手当、謝金、旅費

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が  
何を行っているかにつ  
いて補足する)  
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について 記載する。費目と用途の 双方で実情が分かるように 記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	通信運搬費	物資の輸送	12	人件費	職員に対する旅費	5
計		12	計		5	

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本通運株式会社	4010401022860	物資の輸送	12	随意契約(少額)	-	-	
2	Multinational Force and Observers	-	シナイ半島司令部要員支援費等	7	随意契約(その他)	-	-	
3	個人A	-	南スーダン連絡調整要員用車両運行業務	5	随意契約(その他)	-	-	
4	SWED GENERAL TRADING	-	南スーダン連絡調整要員用宿舎借上げ	5	随意契約(その他)	-	-	
5	クリエイティブ・ファクトリー株式会社	3011301024114	シンポジウム開催経費	4	一般競争契約(最低価格)	16	76%	
6	インターナショナルレスオーエスジャパン株式会社	8010401079666	国際平和協力隊に係るメディカルサービス等の加入	4	随意契約(公募)	-	-	
7	EL SAFWA FOR CONSTRUCTION & DEVELOPMENT S.A.E	-	シナイ半島連絡調整要員用宿舎借上げ	3	随意契約(その他)	-	-	
8	Dish NET	-	南スーダン司令部要員用インターネット回線使用料	1	随意契約(その他)	-	-	
9	H.I.S TRAVEL AND TOURISM LLC	-	アラブ首長国連邦連絡調整要員用車両借上げ	1	随意契約(少額)	-	-	
10	個人B	-	シナイ半島連絡調整要員用車両借上げ	1	随意契約(その他)	-	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	旅費(個人)	5	その他	-	-	
2	個人B	-	国際平和協力手当及び旅費(個人)	5	その他	-	-	
3	個人C	-	国際平和協力手当	4	その他	-	-	
4	個人D	-	国際平和協力手当	4	その他	-	-	
5	個人E	-	旅費(個人)	3	その他	-	-	
6	個人F	-	国際平和協力手当及び旅費(個人)	3	その他	-	-	
7	個人G	-	国際平和協力手当及び旅費(個人)	3	その他	-	-	
8	個人H	-	国際平和協力手当及び旅費(個人)	3	その他	-	-	
9	個人I	-	国際平和協力手当及び旅費(個人)	3	その他	-	-	
10	個人J	-	旅費(個人)	3	その他	-	-	

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック